

食器の絵柄が「大風」に！！

江戸川河川敷で、毎年5月の3日と5日に開催される「大風あげ祭り」は、地域の歴史ある行事です。この時に揚げる凧は、和紙と竹で3カ月もかけて春日部市「庄和大風文化保存会」の会員によって作られます。

まず大風を前に、その年に初節句を迎える子どもたちの健康と幸福な成長を願う儀式が行われ、その後、上若（かみわか）組と下若（しもわか）組それぞれの大風を揚げます。

大風を揚げるのは百数十人。見物客は10万人以上。

江戸川河川敷を埋めた人々が見守る中、大風が空へ舞い揚げられます。その姿は勇壮の一言。

その隣では、小凧や小町凧、企業名入りのコマーシャル凧などが舞い、お祭り気分をさらに盛り上げます。子どもたちの健やかな成長を願い市民一体で開催される祭りです。

今回の給食センターの**食器の入れ替えにあたり、食器の絵柄が「大風」になりました。入れ替わる食器は2種類です。**ごはんなどを盛り付ける食器と主菜（肉や魚や卵料理など）と副菜（和え物やサラダなど）を盛り付ける食器です。

歴史ある郷土の行事の「大風あげ祭り」のことを知り、地元への興味関心を高めましょう。



新しい食器の材質は

PEN (ポリエチレンナフタレート) 食器

今までは、磁器食器が一人分として3つでしたが、今回食器が入れ替わることにより、磁器食器は1つ（スープや味噌汁や煮物などを盛り付ける食器）になります。

入れ替わる食器は、ごはんなどを盛り付ける食器と主菜（肉や魚や卵料理等）と副菜（和え物やサラダ等）を盛り付ける食器の2つです。

この2種類の食器は、今までの磁器食器と違い、PEN（ポリエチレンナフタレート）食器になります。この食器は、安全で着色しない材質で、キズがつきにくく、耐熱性に優れ、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が可能です。

プラスチック製食器で問題になりがちな食品からの着色汚れに強く、食材成分や酸・アルカリにも侵されません。

また、プラスチック製食器の「傷つきやすい」という弱点を克服してます。

原料、着色剤に発がん物質や環境ホルモンは含まれていません。

添加物を使用してなく、水や油に溶け出す物質もありません。

また、熱による変形が起こりません。酸・アルカリ・油・リモネン（柑橘類の皮に含まれる成分）などに侵されません。

新しい食器には、
大風の絵柄が
あります。

新しくなる
PEN 食器

新しくなる
PEN 食器

磁器食器